

## セアカゴケグモ等の生息状況調査結果について

平成18年9月15日(金)

代表連絡先	環境衛生課
	生活衛生グループ
	担当 倉持・上澤
	代表電話 06-6941-0351
	内線 2582
	直通電話 06-6944-6708
	メールアドレス kankyoeisei-g04@sbox.pref.osaka.lg.jp

平成7年11月に高石市で生息が確認されたセアカゴケグモについては、これまで平成8年、平成15年に生息状況調査を実施し生息区域の拡大傾向を確認しております。

今般、前回調査から3年が経過したことから、生息域の状況を確認するため、前回と同様の方法により平成18年5月1日から同年7月31日にかけて調査を実施したところ、下記のとおり生息域の拡大の傾向が見られましたのでお知らせします。

## 記

## 1 調査方法概要

大阪府内を2km四方のメッシュに区切り、それぞれのメッシュの中で公共施設等で生息適地と考えられる1地点を調査ポイントとして選定しました。なお、保健所設置市域（大阪市、堺市、高槻市、東大阪市）については、各市の独自調査結果等の情報提供を得ました。

## 2 調査結果概要（別表参照）

保健所設置市を除く府域を2kmメッシュで分画すると427メッシュとなります。このうち大部分が山林や他府県の区域になるものを除き、生息調査を実施したのは、283メッシュ（66.3%）です。

調査したメッシュのうち、91メッシュ（32.2%）でセアカゴケグモが確認されました。（メッシュ図参照）。なお、府内合計では調査した395メッシュの内125メッシュ（31.6%）で確認されています。

## 3 結果の考察及び今後の対策

生息状況は、泉州地域を中心に臨海部から平野部全般に面的な生息が見られます。南河内、中河内、北河内、北摂地域にも生息地の拡大傾向が見られます。

今後は、咬傷事故防止の観点から、個体数の削減に向け、施設管理者による適切な駆除が進められるようセアカゴケグモの生態や対処方法等について啓発に努めます。

関連ホームページ [セアカゴケグモについて](#)

添付資料

[別表](#)

[メッシュ図](#)

(別 表)

自治体／結果	平成18年度調査			平成15年度調査	平成8年度調査
	対象M数	調査M数	発見M数	発見M数	発見M数
大阪府	427	283	91	49	25
大阪市	71	71	13	2	—
堺市	52	39	16	25	—
高槻市	32	14	0	0	0
東大阪市	18	8	8	1	1
合計(重複Mを除く)	530	395	125	77	26

(注)

- \* Mは、メッシュの略。
- \* 自治体間での対象M数のうち70M、調査M数のうち20M、発見Mのうち3Mが重複しています。
- \* 大阪市は、7月から8月に500mMで調査を実施し、それを2kmMに転記しました。
- \* 堺市は、大阪府と同様の調査を実施した結果です。(なお平成15年度は市民からの通報により市が生息を確認した箇所を表記したものです。)
- \* 高槻市は、大阪府と同様の調査を実施した結果です。
- \* 東大阪市は過去3年間で発見された箇所を再度8月に調査を実施した結果です。